

令和5年度 農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)のうち 農山漁村発イノベーション推進事業(農福連携型)及び農山漁村発イノベーション整備事業(農福連携型) 事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和5年度に実施された「農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)のうち農山漁村発イノベーション推進事業(農福連携型)及び農山漁村発イノベーション整備事業(農福連携型)」について、農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記5の第9の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和5年度に交付金事業を実施した北海道内の11地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。
その結果、優良と認められる地区が6地区、良好と認められる地区が2地区、総合的に低調と認められる地区が3地区との評価結果となった。
なお、今年度の評価対象ではないが昨年度に重点指導の対象となった1地区について、重点指導の結果を評価した。
総合的に低調と認められる地区に対しては、重点的な指導、助言等を行うこととしており、その対象は3地区となった。

3. 各地区の評価結果

12件(うち1地区は、今年度評価対象ではないが昨年度重点指導となっていた地区)

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
本省	北海道	北見市	株式会社 エムリンク夢ケア		●	● ▼	■ ▲ ▼	▲					令和4年度に事業は完了しているが、令和5年度の事業評価で4年度の取組目標の達成状況が低調であったが、改善指導により目標を達成した。
本省	北海道	美幌町	特定非営利活動法人 マイスペース美幌			●	● ▼	■ ◆ ▲				A	取組状況、事業実績、実施体制がそれぞれAの評価結果であり、総合的評価をAとした。 地域の子ども食堂や炊出し訓練など、地元消費のプロモーション活動のため、イベント等を開催したこと、また、Eコマースに向けたホームページの強化を行うなど販売にも力を入れており、今後も取組を継続されたい。
本省	北海道	江別市	株式会社 北壱伍農産			● ★	● ▼	■ ◆ ▲ ▼	△			C	取組状況及び事業実績がC評価であるため、総合的評価をC評価とした。 アイス小屋(加工施設)を令和5年度に自己資金によって整備予定であったものの令和6年度に遅れたことによって、売上の目標が達成できなかった。 令和6年6月に工事契約を行っており同年秋ごろに開業し通年営業の予定であることから、今後は就労者数のさらなる増加、売上高や交流人口の目標達成に努められたい。

本省	北海道	白老町	株式会社 徳寿ファーム			● ★ ▼	● ▲ ▼	■ ◆ ▲ ▼	△				C	事業実績がC評価であるため、総合的評価をC評価とした。 栽培設備を導入した渡辺パイプから、効果的使用などの現場指導及び経営分析は、実施率が低調な取組であった。 また、いちごの生産は7月以降の猛暑による生育不振で昨年に続き目標値を下回る結果となったが、販売単価の上昇により売上高は上昇している。 障害者の雇用・就労者数については、直前で辞退者があり、目標を達成できなかった。 今後は社会福祉法人等の連携、収穫量安定により目標達成に努められたい。
本省	北海道	旭川市	特定非営利活動法人 カムイ大雪バリアフリー研 究所			● ★	●	■ ◆					A	取組状況、事業実績、実施体制がそれぞれAの評価結果であり、総合的評価をA評価とした。 計画した体制で事業により整備された施設を活用し農産物加工や販路開拓を行ったことで、障害者の雇用・就労、売上、農業短期従業員の増加が目標が達成されており、今後も取組を継続されたい。
本省	北海道	札幌市	株式会社 リベラ			● ★	●	■ ◆					A	取組状況、事業実績、実施体制がそれぞれAの評価結果であり、総合的評価をA評価とした。 計画した体制で生産性の向上や販路開拓を行ったことで、障害者の雇用・就労、売上、交流人口の増加が目標以上に達成されており、今後も取組を継続されたい。
本省	北海道	札幌市	株式会社 トライ			● ★ ▼	● ▲	● ▲	□ ◇				B	取組状況及び事業実績がB評価であるため、総合的評価をB評価とした。 売上が目標に対し大幅に低い結果となっているが、雇用・就労者数及び交流人口について目標を達成している。 なお、白樺樹液の採取・加工・保存に関する技術指導を受けたことにより、支援員、作業員へ横展開ができ、ノウハウを自社のものとすることができたことは十分評価できる。 今後は技術指導の内容を十分に活かし、売上の増加及び他の取組の継続・拡大により目標達成に努められたい。
本省	北海道	当別町	株式会社 Seed			●	● ★	● ★	□ ◇				A	取組状況、事業実績、実施体制がそれぞれAの評価結果であり、総合的評価をA評価とした。 令和5年度は農産物加工施設を整備したこともあり、事業実績の目標に対する達成率はすべての項目で前年を上回っており、今後も取組を継続されたい。

本省	北海道	石狩市	株式会社 コムズファーム					● ★	●	□ ◇			A	取組状況、事業実績、実施体制がそれぞれAの評価結果であり、総合的評価をA評価とした。 令和4年度に整備したカフェで提供するメニューのモニター調査の分析結果を元に商品のブラッシュアップや包装紙のデザイン見直し、販売手法の検討など、付加価値を高めて差別化を図っており、今後も取組を継続されたい。
本省	北海道	北広島市	合同会社 竹内農園					●	●	□			A	A評価が半数以上であり、かつ、C評価が無いことから、総合評価はA評価とした。 売上は天候に左右される場合があるものの、取組は順調に進んでおり、今後はジョブコーチとしての発表、視察の受入れ等を通じ広く有効性を広めるなど、今後も取組を継続し、目標達成に努められたい。
本省	北海道	網走市	特定非営利活動法人 夢の樹オホーツク					● ★ ▼		○ △ ◇	□		C	事業実績がC評価であるため、総合的評価をC評価とした。 資材確保や人手不足の関係で施設整備が遅れたため、令和5年度中に保健所の許可を得ることができず、雇用・就労者数の確保及び売上を計上することができなかった。 なお、燻製利用レシピ試作、試作メニュー試験販売や燻製製造加工施設の主要な取組は計画通り実施され、結果として交流人口の目標値は達成されているが、6年度には保健所の許可を早々に取得し、就労希望者も既に確保している。 今後は整備された施設を活用し、目標達成に努められたい。
本省	北海道	札幌市	社会福祉法人 札幌緑花会					● ★		○ ◇	□		B	取組状況及び事業実績がB評価であるため、総合的評価をB評価とした。 園内の技術指導は、b判定であったものの、7回目標に対し4回しか実施できておらず、令和6年度も引き続き技術指導を受けるとともに、園外研修も含めたビデオ撮影による繰り返しの視聴による技術の習得が望まれる。 また、令和5年12月に整備を完了した営農施設を活用し、効率的な作業とリンゴの付加価値向上による売り上げの更なる増加及び交流人口の目標達成に向けて農作業イベント等を実施し、目標達成に努められたい。

(注1)「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)
ハード対策 ☆…交付対象年度(計画) ★…交付対象年度(実施済) ◇…目標年度(計画) ◆…目標年度(実施済)
重点指導 ▼…重点指導(通知) △…重点指導(結果報告予定) ▲…重点指導(結果報告)

(注2)「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調 評価対象外…評価対象外

4. 第三者機関の意見聴取

農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記5の第9の規定に基づき、評価に当たり第三者機関である「農山漁村振興交付金(都市農村交流等)評価委員会」から意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長:大江 靖雄 (東京農業大学教授)
委 員:市田 知子(明治大学教授)、加藤 由紀子(北海商科大学非常勤講師)、木村 宏(北海道大学客員教授)、森 久美子(作家・拓殖大学北海道短期大学客員教授)

【令和6年度評価委員会の開催概要】

第1回評価委員会
1 日 時 :令和6年7月26日(金) 9:00～15:00 2 場 所 :農林水産省農村振興局第5会議室(web会議併用) 3 出席委員 : 大江委員長、市田委員、加藤委員、木村委員、森委員 4 議事概要 ① 令和6年度評価対象地区の評価方法について 本年度の評価方法について、説明を行い了承を得た。 ② 令和6年度評価対象地区の評価及び取組状況について 令和5年度に事業を実施した11地区の取組概要、評価案及び評価が低調と認められる地区に対する重点指導案に関して説明し、質疑応答を行った。 また、今年度の評価対象外ではあるが、昨年度に重点指導対象となっていた1地区の、重点指導結果に関して説明し、質疑応答を行った。 4 主な意見 全体的な印象としてC判定になっている要因は、施設整備が遅れている点、売り上げが十分でない点があり、それらの改善が必要になる。
第2回評価委員会
1 日 時 :令和6年8月23日(金) 13:00～15:00 2 場 所 :農林水産省農村振興局第5会議室(web会議) 3 出席委員 : 大江委員長、加藤委員、木村委員、森委員 4 議事概要 ・ 第1回評価委員会における質問への回答及び評価結果案 令和5年度に事業を実施した11地区の評価案等に関して、了承を得た。 また、今年度の評価対象外ではあるが、昨年度に重点指導対象となっていた1地区の重点指導結果に関して、了解を得た。 4 主な意見 特になし

農山漁村振興交付金(農福連携対策)重点指導結果

事業実施主体名:株式会社 エムリンク夢ヶア

令和6年8月23日 作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要(農福連携支援事業)
北海道 北見市	R2	・温泉トラフグ養殖事業の知識、技術習得と試験養殖により、通年で働ける安定した障がい者雇用を実現し、売上げ、賃金の向上が期待できる環境を整備。 ・温泉トラフグを地元の新たな特産品として売り出し、北海道にはないトラフグ文化を創造し、地域活性化に寄与することを目指す。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

主要な取組であるトラフグの養殖数がc判定であるが、その他項目では、計画された体制で整備された養殖マニュアルや地域への働きかけ(行政や学校、仕入業者、報道機関等)を行うとともに販路拡大に向けた取組を行っているため評価できる。また、前年度より事業実績の達成状況や実施体制についても改善がみられるため、今後は養殖数の増加及び売り上げ目標の達成に注力されたい。

2. 低調と評価された要因

○主要な取組であるトラフグの養殖数500匹に対し、136匹の実績(27.2%)であったため、c判定となり、取組の実施状況及び総合評価でC評価となった。

3. 目標達成に向けた方策

- 稚魚死滅対策
 - ・稚魚放流前に、温泉トラフグ養殖槽の水質調査を実施し、各成分が養殖に適応する水質に調整する。
 - ・稚魚輸送は極端な低温や高温にならない期間を設定して、運送日を決定する。
 - ・稚魚の輸送負担軽減の為に箱入り数低減した上で、輸送期間短縮の為に運送業者営業所止めにし引き取り、自車で振動を与えないように養殖場迄まで運び、水温や水質を馴染ませながら時間をかけて、段階的に養殖槽に放流する。
- 雇用・就労の改善
 - ・温泉トラフグ養殖に携わってない就労継続支援A型事業所利用者に、養殖就労指導員からの指導を実施する。
- 売上の改善
 - ・死滅対策で安定した養殖を実現させた上で、地域鮮魚店以外にも飲食店への販売など、更なる販路の拡大も進めていく。
- 交流人口の改善
 - ・自社HPや近隣行政への働きかけは勿論だが、報道機関に報道してもらう。試食会イベントを検討実施していく。

4. 改善状況

- 試験飼育槽で養殖可能な最大500匹で温泉トラフグ養殖
 - ・養殖指導頂いている株式会社岩商より、稚魚段階では最大500匹養殖可能な飼育槽ではあるが、出荷までの大きさに成長する事を踏まえると300匹が限界との助言があり、実績300匹となっている(養殖目標500匹、実績300匹 60% b判定)
- トラフグ料理地元消費拡大イベント、プロモーション事業を展開(目標3回、実績3回 100% a判定)
 - ①10/13:仕入先と地元養殖トラフグを料理提供する旨北見経済新聞に掲載
 - ②11/2 : 温泉水を使用した養殖トラフグについて、北海道新聞デジタルに掲載
 - ③11/16:障がい者の就労支援している養殖トラフグについて、NHKに取材報道
- 【事業実績】
 - ・障害者等の雇用者数: 目標7人、実績7人 達成率100% a判定
 - ・売上高: 目標200,000円、実績225,000円 達成率113% a判定
 - ・交流人口: 目標70人、実績78人 達成率111% a判定

農山漁村振興交付金(農福連携対策)重点指導結果

事業実施主体名:特定非営利活動法人 マイスペース美幌

令和6年8月23日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要(農福連携支援事業)
北海道 美幌町	R3	・障がい者が働ける場の拡大と農林業から発生する余剰物等を利用した炭の生産・加工・販売体制の構築。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

販路開拓に遅れが生じ、売上・交流人口の目標値を大幅に下回る結果となった。販路拡大においては近隣のキャンプ場や飲食店への卸売販売の強化や地元行政との連携を、炭の質向上においては現場の意見を反映し、購入者のニーズに合った炭を適正価格で販売することをそれぞれ努められたい。

2. 低調と評価された要因

○事業実績において、売上高目標240万円に対し、実績が4.8万円(2%)、交流人口目標2,400人に対し、実績が81人(3%)であったため、それぞれc判定のC評価となったため、総合評価でC評価となった。

3. 目標達成に向けた方策

○製炭事業用設備の整備については、障がい者の方が働きやすいよう整理整頓や物品の配置、動線の見直しとともに大規模な設備の増設はせず、生産工程の見直しを行う。
○地元消費のプロモーション活動は、地域食堂(子ども食堂)の実施計4回、炊き出し訓練1回、地域開催のイベント等を開催する。
○炭火を使ったイベントを行い地域の方々との交流を深める。
○Eコマースに向けたホームページの強化、販売サイトの開設を行う。
○販路拡大については地元のお祭り”美幌和牛まつり”でBBQ用の炭として利用してもらい、PRも含めて実施することで交流人口を増やすことや販路拡大を進めていく。

4. 改善状況

○前年に引き続き、製炭加工販売を行い障がい者の働く環境を整えた。
○地元消費のプロモーションのため、地域食堂(子ども食堂)を開催し、地域の幅広い年齢層の方に炭火を使ったメニューを提供した。
○冬場の防災炊き出し訓練として自治会の方を招き、炭で火をおこしながら防災食を調理し、災害時の燃料としてのプロモーションを行い地元とのつながりを強化することができた。
○Eコマースによる地域外への販売体制を構築し、令和6年度には地域外のキャンプ場との販売契約も進みさらに強化していく予定です。

【事業実績】A評価

・障害者等の雇用・就労者数:目標35人、実績25人 達成率71% b判定
・売上高:目標300万円、実績879万円 達成率293% a判定
・交流人口:目標3,000人、実績8,600人 達成率286% a判定

農山漁村振興交付金(農福連携対策)重点指導結果

事業実施主体名:株式会社 北老伍農産

令和6年8月23日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要(農福連携支援事業)
北海道 江別市	R3	・これまで北海道に無かったブルーベリー養液栽培での市場への新規参入やイチゴ栽培の更なる技術習得などを通じ、障がい者の社会参加の機会を拡大し、自立のための支援を促進する。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

自社の圃場で栽培しているイチゴの栽培に係る軽作業を行ってもらうために市内の福祉事業所から利用者を受け入れているものの、アイス小屋(加工施設)の整備予定時期(自己資金)が令和5年度に遅れたことにより、加工作業などの作業時間を確保出来ず就労人口や売上高の目標を達成出来なかったことは残念である。令和5年度にアイス小屋は整備予定であるものの、年度内の完了が難しい場合は、農作業に係る作業時間の確保等により目標の達成が図られることを期待する。

2. 低調と評価された要因

○主要な取組であるアイス小屋(加工施設)の整備(自己資金)ができなかったことで、就労者数、交流人口が確保できず総合評価でC評価となった。

3. 目標達成に向けた方策

- アイス小屋
- ・開業手続きに時間を要しているが、農地転用がスムーズに進むよう務める。
- いちご
- ・いちごの栽培技術の習得については、生産専門のコンサルティング会社と契約し、栽培技術の指導を受ける予定。
 - ・いちごの品質等の維持・向上については、生育不良や病気などの対応は、コンサルティング会社に画像を転送す転送するなどるなどして、アドバイスを受け、適切な防除により品質の維持向上を図る。

4. 改善状況

- 令和5年度はイチゴの収量や反収について令和4年度を上回ることができた。
- 日々の生育管理について令和4年度における反省点を踏まえ障がい者の方々とは協力しながら改善・実行することで就労実績についても前年度を超える結果となった。
- 猛暑の日々が続き作業できない日も多くみられた。ハウス作業以外の仕事についても確立させていく必要がある。
- 加工施設については令和6年度の着工・完成・営業開始が見込まれている。予定よりもかなり遅れたが、遅れた分営業内容について十分に検討・改案することができた。ブルーベリー狩りも同年のスタートが見込まれている。
- 引き続き障がい者雇用について提携を行っていく予定である。

【取組状況】

- ・アイス小屋の整備:0% c判定(転用手続きに時間を要し、R6年度に工事契約)
- ・ブルーベリーの定植:目標1箇所、実績1か所(実施率100% a判定)
- ・ハウス内作業手順マニュアル:目標1冊、実績1冊(実施率100% a判定)

【事業実績】

- ・障害者等の就労者数:目標5人、実績5人(達成率100% a評価)
- ・売上高:目標11,000千円、実績5,080千円(達成率46% c評価)
- ・交流人口:目標5,000人、実績100人(達成率2% c評価)

農山漁村振興交付金(農福連携対策)重点指導結果

事業実施主体名:株式会社 徳寿ファーム

令和6年8月23日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要(農福連携支援事業)
北海道 白老町	R3	・いちご栽培は、北海道白老町に開設した観光農園パーク(肉牛肥育、牧場レストランを先行開業)及びグループ会社における主要原材料の生産となるが、目的は、これまで密に連携を図ってきた白老町における農産物栽培の拡大とそれに伴う観光産業の振興と地域就業機会の拡大である。 ・いちごはスイーツとして地域名産化するだけでなく、いちご狩りを通じて多くの集客を図る。 ・今般、地域の社会福祉法人との連携をはじめとした障害者雇用の拡大や就業機会の拡大を実現させていく。 ・これらの相乗効果を得た観光農園パークでは、同じく白老町にオープンしたウボポイとも連動し、道内外はもちろんのこと、国内外からの集客を図り、農業を起点とした白老町の振興に寄与する。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

運営責任者の交代により、計画していた事業が十分に実施されず、いちごの生育についても病気の発生等で不調になったことは残念である。設定した目標を達成するためには、いちごの収穫量を安定させることが必要であるため、栽培指導を受けながら病気等の再発防止に努められたい。

2. 低調と評価された要因

○事業実績における雇用・就労の目標5人に対し、実績1人(20% c判定)、売上目標28,000千円に対し、実績7,550千円(26% c判定)、交流人口目標12,240人に対し、実績14人(0.1% c判定)であったため、総合評価でC評価となった。

3. 目標達成に向けた方策

- ・取組目標を達成するため、コンサルタントによる技術指導を受け栽培の安定化を図る。
- ・当初の事業計画を変更し、目標生産量を5,200kg、いちご狩り集客目標960名に修正し、実現可能な目標を掲げる。
- ・いちご栽培マニュアルを参考に、病気の発生などがないよう、観察を強化し、初期段階での葉かき、摘花等、栽培管理を徹底し、安定した収穫を目指す。

4. 改善状況

- ・昨年度実施できなかった先進的農家を3か所視察した(苫東ファーム、ニトリ観光果樹園、豊浦町個人農家)
- ・苺摘みとり体験とファームレストランへの集客を図るため、「じゃらん」を通じて広告宣伝を行った。

【主要な取組状況】

- ・コンサルタントからの技術指導: 目標12回に対し、実績7回(実施率58% b判定)
- ・農家視察: 目標3回に対し、実績3回(実施率100% a判定)
- ・広告宣伝活動: 目標7回に対し、実績7回(実施率100% a判定)

【事業実績】

- ・障害者等の雇用・就労者数: 目標5人、実績1人(達成率20% c評価)
- ・売上高: 目標15,154,000円、実績10,263,852円(達成率67% b評価)
- ・交流人口: 目標960人、実績448人(達成率46% c評価)

農山漁村振興交付金(農福連携対策)重点指導結果

事業実施主体名:株式会社 トライ

令和6年8月23日 作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要(農福連携支援事業)
北海道 札幌市	R4	・白樺樹液・新芽採取方法と保存・加工方法の習得 ・白樺樹液・新芽加工品の広報と販路拡大 ・白樺樹液・新芽加工品のテスト利用と新製品考案、新たな利用方法提案、検討会実施

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

加工品の販売と納品について、令和4年度は品質・数量において、不足が生じており、販売・納品まで結びつかなかったということであり、改善が必要であると考えている。その他の取組については、十分に実施されており評価できるため、当初の目標を達成するために品質管理や収穫手段等の見直しを図られたい。

2. 低調と評価された要因

○取組状況における主要な取組である加工品の販売と納品について、試作品の品質及び数量が販売水準に至らなかったため、総合評価でC評価となった。

3. 目標達成に向けた方策

- ・白樺樹液の採取・加工・保存について専門家による技術指導を受け質の安定化を図る。
- ・既存品を購入し、試作品との比較検討を行う。

4. 改善状況

- ・白樺樹液の採取・加工・保存について専門家による技術指導を受け、支援員、作業員へ水平展開ができた。

【主要な取組状況】

- ・保存加工方法の習得: 目標5回に対し、実績5回(達成率100% a判定)
- ・加工品の販売と納品: 目標3回に対し、実績3回(達成率100% a判定)
- ・イベント検討会実施: 目標5回に対し、実績3回(達成率60% b判定)

【事業実績】

- ・障害者等の雇用・就労者数: 目標10人、実績10人(達成率100% a判定)
- ・売上高: 目標13,200千円、実績126千円(達成率1% c判定)
- ・交流人口: 目標40人、実績40人(達成率100% a判定)